

脱炭素化推進計画の認定と 取組に関する報告

鳥取砂丘コナン空港カーボンニュートラル拠点化協議会

(令和6年10月8日 第6回協議会資料)

鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画の認定

鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画の認定

令和6年7月31日：国土交通省より鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画の認定を授与



Press Release

令和6年7月30日
航空局 空港計画課
空港技術課

空港脱炭素化推進計画の認定式を開催します ～神戸・鳥取の2空港へ認定証を手交～

国土交通省は、空港脱炭素化推進計画について、申請のありました神戸空港、鳥取空港の2空港の計画を認定します。
本認定に際し、認定証を各空港の管理者に直接交付する認定式を令和6年7月31日に行います。

航空分野の脱炭素化を図るため、令和4年6月に航空法・空港法等を改正し、各空港の管理者が空港と一体となって、具体的な目標や取組内容を定めた空港脱炭素化推進計画を作成する制度を創設しました。

今般、神戸空港、鳥取空港の2空港から申請のあった空港脱炭素化推進計画について認定を行い、あわせて、下記の通り認定式を行います。

今後、照明のLED化、車両のEV化および太陽光発電設備等の再エネ導入を最大限実施することにより、神戸空港及び鳥取空港の脱炭素化を推進します。

【空港脱炭素化推進計画策定状況】

https://www.mlit.go.jp/koku/koku.tk9_000085.html

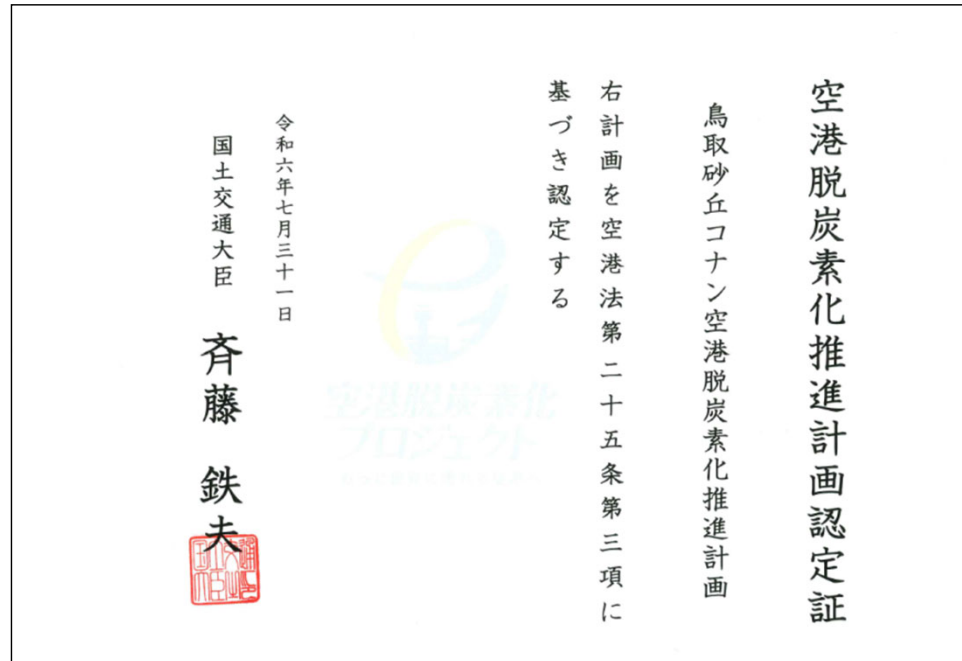
【認定式】

- 日時 令和6年7月31日(水) 13時30分～13時50分
- 場所 国土交通省特別会議室
(東京都千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館8階)
- 取材等 ●報道関係者に限り取材が可能です。希望される方は、令和6年7月31日(水) 11時までに、氏名・所属先・連絡先を下記 URL よりご連絡ください。
・取材申込連絡先(Microsoft Forms のアンケートフォーム)
<https://forms.office.com/r/xFzptYZ4ds>
●当日は13時15分までに中央合同庁舎3号館8階エレベーターホールにお集まりください。

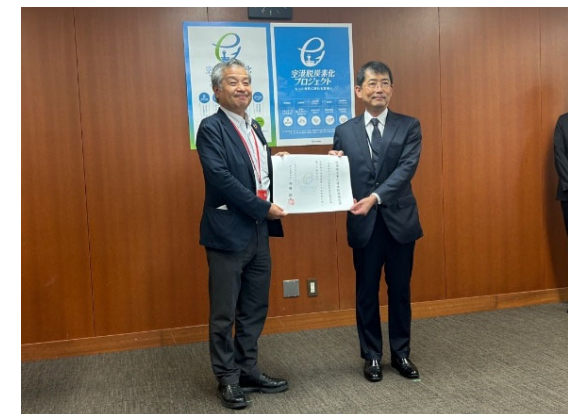
問い合わせ先

航空局航空ネットワーク部空港計画課 市野、笠野、小谷
TEL:03-5253-8111(内線 51609、49218、49239) 直通:03-5253-8717
航空局航空ネットワーク部空港技術課 大竹、土岐
TEL:03-5253-8111(内線 49226、49538) 直通:03-5253-8717

【出典】空港脱炭素化推進計画の認定式を開催します。
～神戸・鳥取の2空港へ認定証を手交



左：遠藤氏 鳥取県輝く鳥取創造本部長
右：田中氏 国土交通省技術審議官



【出典】鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画に向けた取組

各空港における取組（空港脱炭素化推進計画の策定状況）

各空港における空港脱炭素化推進計画の策定状況

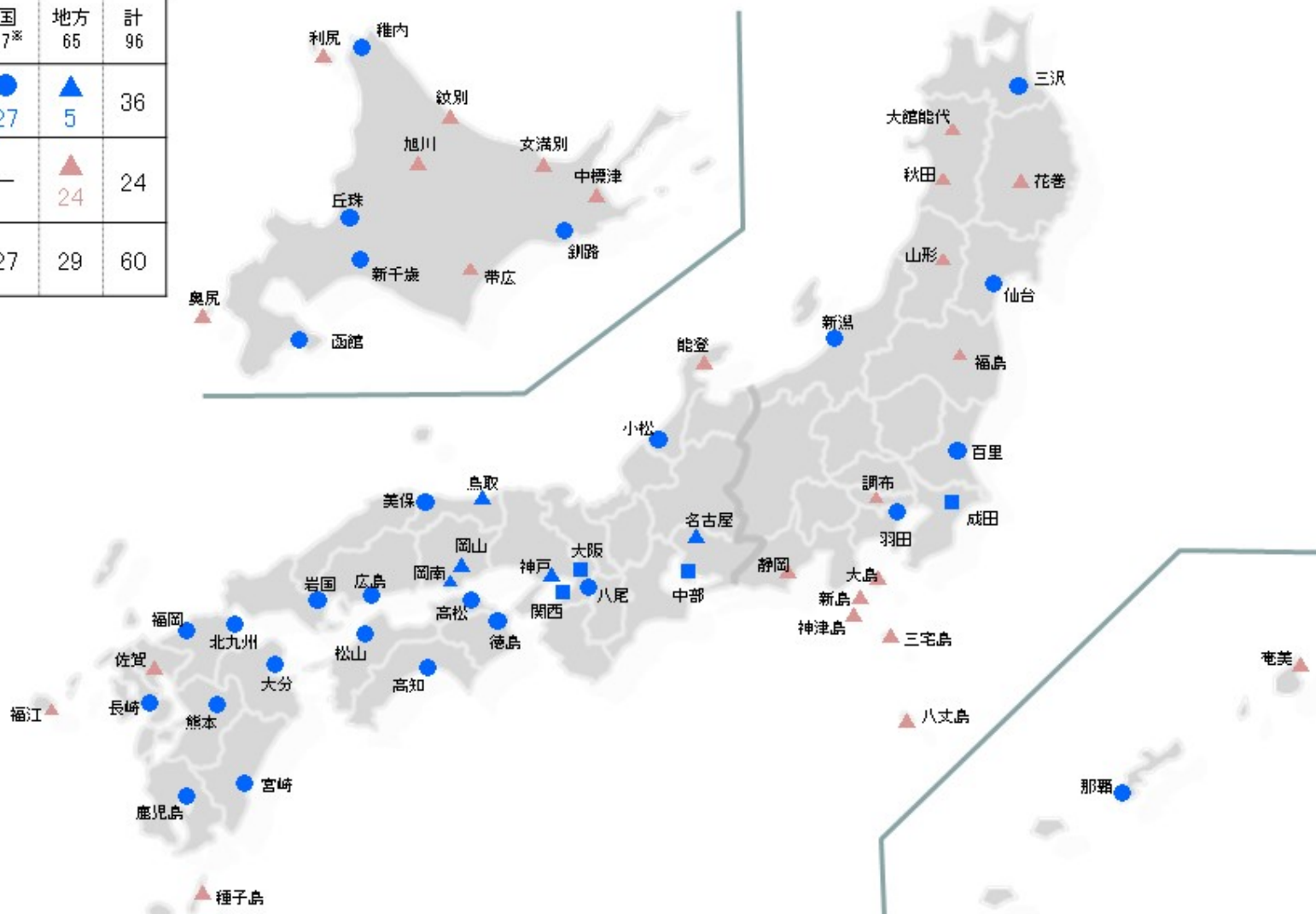
国・地方空港含め、日本全国計60空港で空港脱炭素化推進計画が実施されている状況

令和6年9月6日時点

<凡例>

計画策定主体	会社	国	地方	計	
	4	27*	65	96	
協議会設置	認定・作成	4	27	5	36
	検討中	-	-	24	24
合計	4	27	29	60	

* 千歳飛行場を除く



各空港における取組（空港脱炭素化推進計画の策定状況）

空港脱炭素化推進計画の認定

空港脱炭素化推進計画は昨年度12月に初めて成田・中部・関西・大阪国際空港で認定。

鳥取砂丘コナン空港は60空港のうち、航空局から**6番目**（神戸空港と同日）に、地方管理空港としては**1番目**の認定。

令和6年
9月6日
時点の
認定の状況

空港名	空港管理者	計画名	認定日
成田国際空港	成田国際空港（株）	成田国際空港脱炭素化推進計画	令和5年12月1日
中部国際空港	中部国際空港（株）	中部国際空港脱炭素化推進計画	令和5年12月1日
関西国際空港	新関西国際空港（株）	関西国際空港脱炭素化推進計画	令和5年12月1日
大阪国際空港	新関西国際空港（株）	大阪国際空港脱炭素化推進計画	令和5年12月1日
名古屋飛行場	愛知県	県営名古屋空港脱炭素化推進計画	令和6年3月29日
神戸空港	神戸市	神戸空港脱炭素化推進計画	令和6年7月31日
鳥取空港	鳥取県	鳥取砂丘コナン空港脱炭素化推進計画	令和6年7月31日
岡山空港	岡山県	岡山桃太郎空港脱炭素化推進計画	令和6年9月6日
岡南飛行場	岡山県	岡南飛行場脱炭素化推進計画	令和6年9月6日

【出典】各空港における取組（空港脱炭素化推進計画の策定状況）

第5回協議会 (R6.1.26) から認定 (R6.7.31) までの変更点

第5回協議会(R6.1.26)から認定(R6.7.31)までの推進計画の変更の経緯

経緯

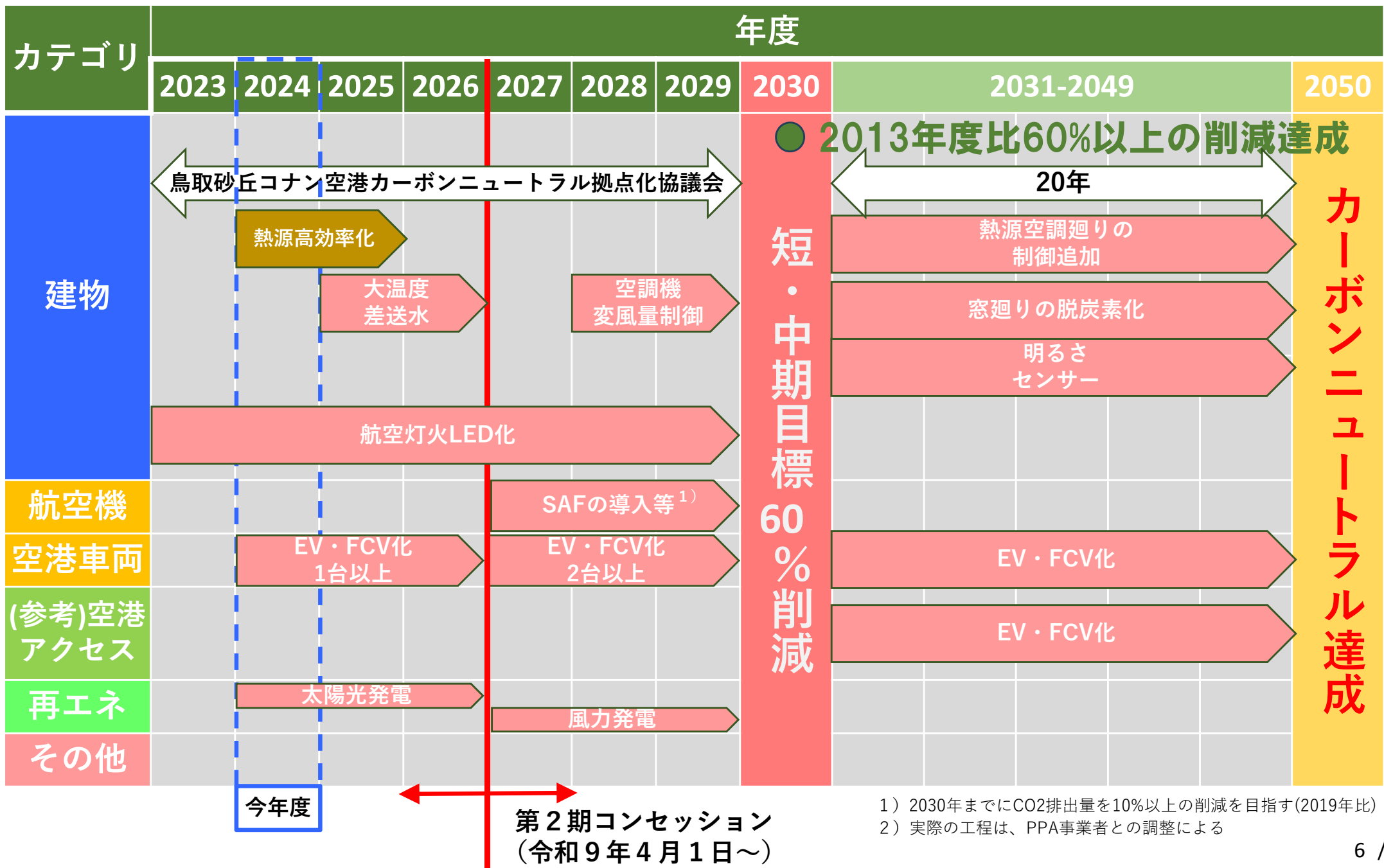
- ・ 国土交通省航空局からの脱炭素推進計画の指摘対応

第5回協議会(R6.1.26)から認定(R6.7.31)までの推進計画の主な変更内容

指摘回答

- ・ 空港脱炭素化推進にあたり空港関係者や利用者への意識醸成について記載すること。
⇒ 空港事業者に対する意識醸成の取組として、協議会を年1回程度開催する旨を追記。
- ・ 太陽光発電設備及び風力発電について、導入可能性のある場所を図示すること。
⇒ 推進計画に追記。
- ・ 今後の状況変化及び技術の進展等により、必要に応じ目標を見直す旨を追記すること。
⇒ 推進計画に追記。
- ・ そのほか、表現方法の修正や表・図間での不整合を修正。

空港脱炭素化に向けた取組内容と実施時期 (ロードマップ)



1) 2030年までにCO2排出量を10%以上の削減を目指す(2019年比)
 2) 実際の工程は、PPA事業者との調整による

○国際線ターミナルビルの空調熱源機器は設置してから約30年が経過しており、近年、老朽化によって故障・不具合も発生していることから、令和6～7年度にかけて更新を行う。

★古い機器から新しい機器に → 高効率化による省エネ

★従来の重油焚きから電気式に → 化石燃料から再エネへの転換に向けて

} 脱炭素化

⇒ 令和6年8月30日付 国の補助金（空港炭素化推進事業費補助金）に採択される

<事業概要>

事業主体：鳥取県

事業費：内定額176,820千円
（うち国庫88,410千円）

事業期間：R6.10月～R8.1月末

R6.10月～機器調達、R7.9～12月設置工事

施工業者：【機械】大和設備(株)

【電気】(株)中電工鳥取総括支社

【機械設備工事】

○空冷ポンプヒートポンプチラーの新設

○既設熱源機器類の撤去

（吸収式冷温水発生器、冷却塔、冷温水ポンプ、
冷却水ポンプ、オイルポンプ、オイルタンク）

【電気設備工事】

○キュービクルの新設

○饋電盤きでんばんの新設



吸収式冷温水発生器
（重油焚き）



冷却塔

撤去
・
更新



空冷ヒートポンプチラー（電気式）

航空灯火LED更新に係る設計及び工事

資料④

航空灯火LED更新に係る設計及び工事

- 事業期間：2022年度～2030年度
- 工事概要 滑走路等の航空灯火をLED化する工事
- 事業費概算額 1,064百万円（R4～R12）



○事業進捗状況

(単位：百万円)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
計画額	67	139	74	57	97	180	180	147	123	1,064
実績額		65	135							200
備考	R5へ繰越	R6へ繰越	R7へ繰越 見込							R6年度末 で約20% の進捗

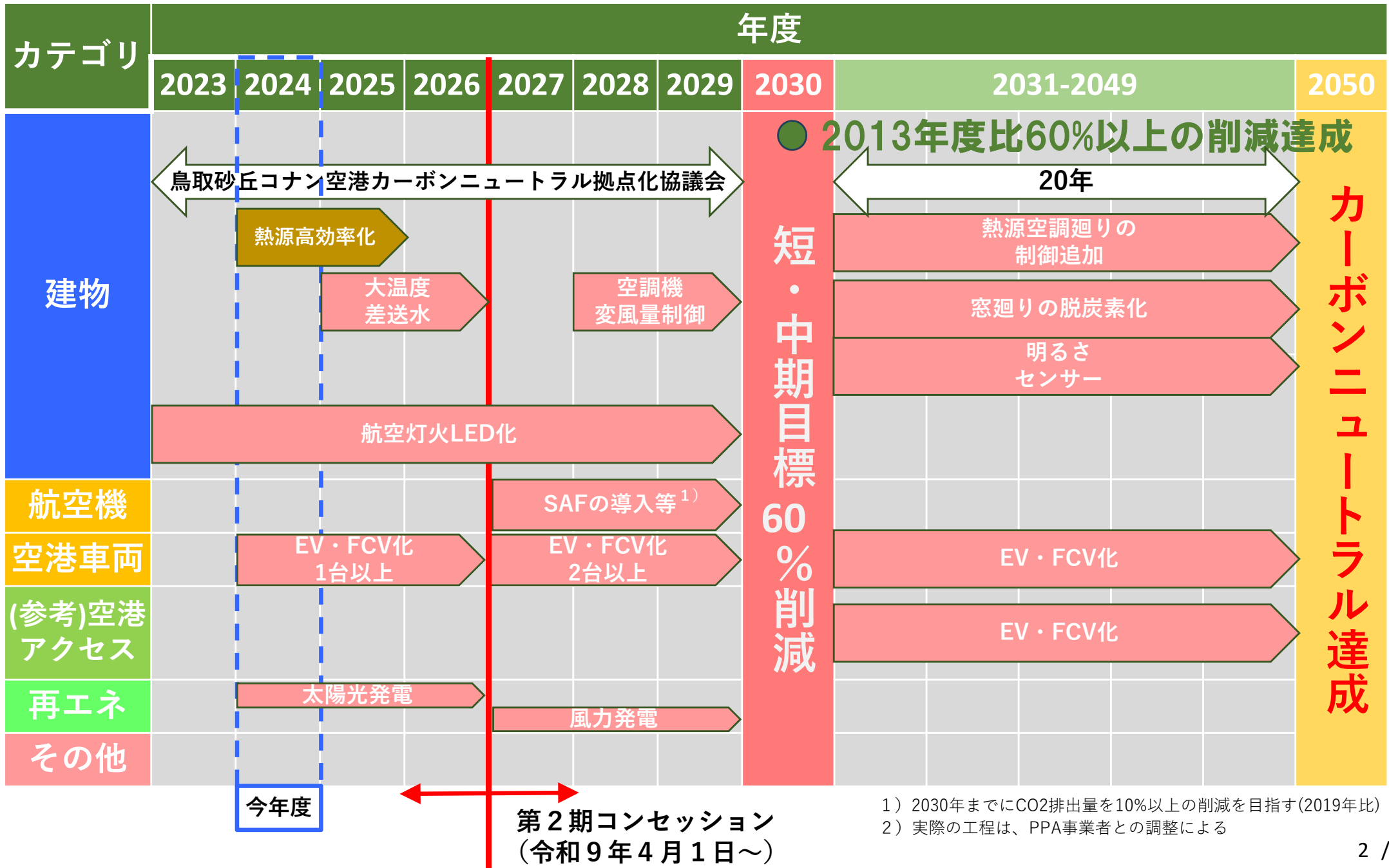
* 現在、LED灯火の納品が6ヵ月以上要することがあり、現時点では事業進捗に一部遅れが生じているが、全体計画の中で遅れは吸収する。

脱炭素化の進捗

鳥取砂丘コナン空港カーボンニュートラル拠点化協議会

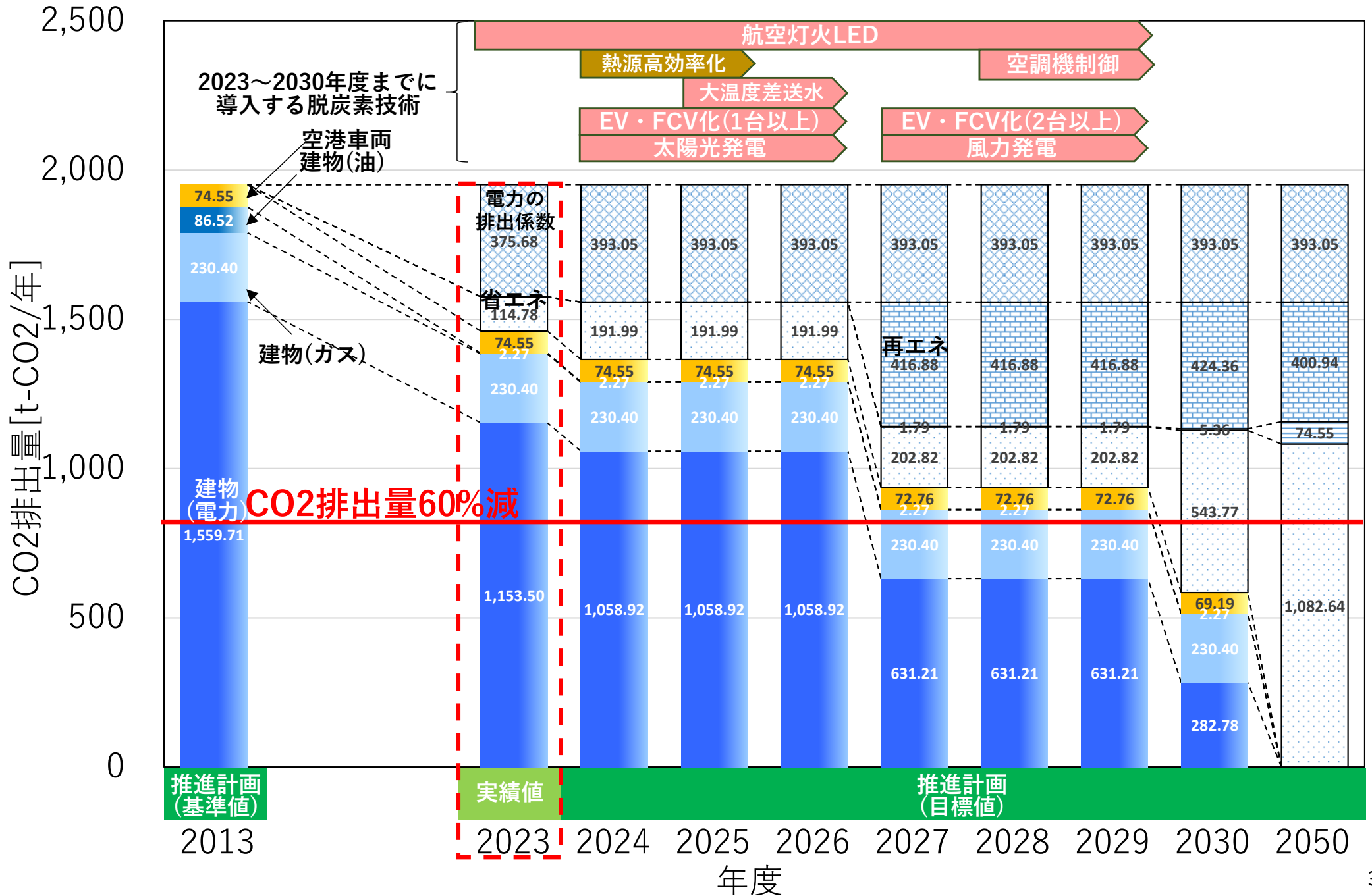
(令和6年10月8日 第6回協議会資料)

ロードマップ



1) 2030年までにCO2排出量を10%以上の削減を目指す(2019年比)
 2) 実際の工程は、PPA事業者との調整による

CO2排出量の見通しと達成状況



エネルギー総費用推移（2023年度を100とした推移）

カーボンニュートラル達成のための省エネ・再エネ導入コスト
 2030年度：25 2050年度：27

